

(臨床研究に関する情報)

当院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究は、学生の解剖学教育に際してご提供していただいた御献体を用いて行います。この研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令和3年3月23日制定、令和5年3月27日一部改正。）に従って実施しています。この研究に関するお問い合わせやご献体から収集した情報をこの研究に利用することにご了承いただけない場合は、下記の連絡先・相談窓口へご照会ください。ご献体から収集した情報の利用にご了承いただけなかった場合でも、それが理由で不利益を受けることはありません。また、この研究については、香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづく医学部長の許可を得ています。

[研究課題名] 大腿筋膜の厚さを大腿の部位ごとに計測する解剖研究

[研究の目的]

大腿部には筋肉を包む大腿筋膜という支持組織があります。この組織は薄さと頑丈さを兼ね備えた組織であり、その用いやすさから様々な疾患に対して再建手術の材料として用いられます。例としては腹部の腫瘍などで腹壁組織が欠損して腸管が露出するような状態となった場合には大腿筋膜を大きくとって腹壁の代わりとして移植して腹壁を閉じます。一方、上のまぶたが下垂して視野が狭くなる眼瞼下垂の患者様に対してはひも状に大腿筋膜を採取して、瞼と眉毛を持ち上げる筋肉の間を橋渡しするように移植することで眉毛を持ち上げる筋肉の力を瞼に伝えるようにすることもあります。そのほかにも様々な用途に用いられている非常に優れた組織ですが、大腿筋膜の使用目的によって必要な形や量などは異なってきます。そこで、大腿筋膜の性状が同じ大腿でもその部位によってどれほど異なるかを研究することにより、手術ごとにより適切な部位や量などの選択ができると考えております。本研究の結果をもとにより優れた大腿筋膜移植による再建手術を行うことが目的です。

[研究の方法]

○対象となる御献体

当大学に2024年5月24日から2024年7月11日の間に、解剖実習のために提供いただいた御献体の中で、研究使用にも同意をいただいている方。

○利用する情報

情報：大腿部の写真データ、献体から直接計測した大腿筋膜のデータ

※上記情報から個人が特定されることはありません。

○利用開始予定日

香川大学医学部倫理委員会承認および香川大学医学部長による実施許可取得後、データ利用を開始予定です。

[研究組織]

○研究責任者名・所属

香川大学 医学部 形成外科学講座 教授 永竿智久

○研究分担者名・所属

香川大学 医学部附属病院 形成外科・美容外科 医員 三柳友樹

この研究について、研究計画や関係する資料、御献体に関する情報をお知りになりたい場合は、他の御献体の個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。研究に利用する御献体の個人情報に関しては、お名前、住所など、御献体を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も御献体を特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院形成外科・美容外科

電話 087-891-2198 FAX 087-891-2199

担当医師 三柳友樹